

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まごころ「はなのい」			
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 16日			～ 令和6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	73名	(回答者数)	73名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 18日			～ 令和6年 11月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援スペースが広く、活動範囲が幅広い。	支援全般で身体活動を多く取り入れている。 ルールや決まり事を守り、安全で楽しく心身ともに健康を最優先に考え取組んでいる。	子ども、保護者からの要望を踏まえ、専門性のある活動を少しづつ取り入れている。
2	庭遊びができる。	季節に応じてアウトドア的な活動を取組んでいる。 土曜日、長期休み期間は特に取り組みの強化をしている。	活動アイテム数の増加。
3	太陽光発電の導入	災害時に於いて、インフラ関連影響を受けにくいことが想定される。災害の際の一時的待機場所として考慮する。	災害時において、近隣及び地域との連携。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースが広い為、走り回る・高く登れる箇所がある。	支援時に子供たちの些細な事項・行動に注視しなければならない。	活動スペースが広いことが強みであるが、広さがあるが故、職員が子どもたちの行動を注視していかなければならない。
2	定員が多いため、にぎやかな環境が苦手な児童についての配慮が必要。	スペースが広く開放感があるので、行動や声も大きくなってしまうことが要因と考えられる。	個々の特性に合わせて、配慮が必要な児童には適切なスペースなどを考える必要がある。